

## 平成21年度 島根県立大学学術教育研究特別助成金の配分について

< 個人研究 >

(単位:千円)

	役職	氏名	研究テーマ	配分額
1	教授	張 忠任	金融危機の中国経済への影響に関する追跡研究 - 中国の経済政策調整を中心に	620
2	教授	渡部 望	カリキュラムデザインの基礎的研究	500
3	准教授	沖村 理史	クリーン開発メカニズムと国際環境協力	550
4	准教授	魁生 由美子	社会福祉における東アジアモデルのインターフェイス - 日韓福祉実践の相互触発型交流 -	500
5	嘱託助手	ドビンスカ・ アグネシュカ	『ポロニカ』の初歩的調査・研究	200
6	嘱託助手	鄭 世桓	韓国語の慣用表現におけるカテゴリー化について - 連語及び多義語的観点から -	300
7	嘱託助手	王 鳳	改革開放後の「新イデオロギー」に関する諸言説の再考察	300
8	教授	瓜生 忠久	情報発信と地域コミュニケーションを主たる目的とし、学生が主体となっ て運営する“デジタル・インフォメーション・センター”構想の研究	400
9	教授	大前 太	語の永遠性をめぐる仏教論理学派とミーマンサー学派との論争	380
10	教授	八田 典子	地域活性化に資する現代アート之力 - 地域に根ざしたアートプロジェクトの展開に注目して -	300
11	教授	藤原 眞砂	マイクロデータを用いた高齢者の生活時間構造、人間関係の研究	730
12	教授	光延 忠彦	日本における「世論政治」の変遷 - 新聞メディアの世論調査を中心に -	530
13	准教授	呉 大煥	韓国語学習支援ウェブサイトの開発の為の研究 - コンテンツの整備とリスニング用のウェブサイトの構築	550
14	准教授	林 裕明	世界経済危機とロシアの労働市場	260
15	准教授	松永 桂子	中山間地域の産業政策に関する比較研究	560
16	講師	小林 明子	日本語学習に対する自律的な動機づけを形成する要因 - 留学生と周囲の日本人との関係性の観点から -	550
17	講師	金野 和弘	デジタルコンテンツの利活用促進のための制度設計の研究	520
18	講師	堀竹 学	企画旅行契約における旅行業者の手配債務と責任	500
19	講師	松田 善臣	過疎地域における公共交通のあり方に関する調査研究	350
20	嘱託助手	新井 健一郎	批判的社会理論と解釈学的方法論 - チャールズ・テイラーの全体論とその隘路をめぐって	300
合 計				8,900

< 共同研究 >

(単位:千円)

	研究グループ名	研究代表者	研究テーマ	配分額
1	第二外国語学習支援 プロジェクト	犬塚 優司	インターネットとコンピュータを利用した第二外国語学習支援システム開 発と運用に関する研究	900
2	島根地域政策共同研究 プロジェクト	井上 定彦	「島根地域政策支援のための大学の役割と可能性」 - 国・公立大学の活動の現状と課題	500
3	日韓・日朝交流史研究会	福原 裕二	日韓・日朝交流史にまつわる総合的研究	1,000
合 計				2,400